

# 区が直面する課題に対応し、未来への扉をひらく取り組みを

## 平成28年度当初予算(案)

区長は、平成28年度当初予算案を区議会第1回定例会に提出しました。一般会計(※1)と4つの特別会計(※2)の合計予算額は1,990億1,700万円で、前年度に比べて99億1,000万円、4.7%の減少となっています。

予算担当/5階 ☎(3228)8813 FAX(3228)5650

### 「中野区基本構想」「新しい中野をつくる10か年計画」の着実な展開と持続可能な財政運営に向けて

平成28年度は、新たに策定中の「中野区基本構想」「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」のスタートの年です。将来の生産年齢人口の推移や超高齢化などの社会状況を捉えながら、「10か年計画」の柱となる全員参加型社会の実現、地域経済の活性化、地域包括ケア体制の構築、子育て環境の充実、スポーツ・健康づくり、中野駅周辺整備の進展、区役所・サンプラザ再整備計画を具体化する年でもあります。

将来を見据えた投資的事業の進展や社会保障関連の対応経費等が増加する中でも、事業の見直しの継続や基金(※3)・起債(※4)の活用などにより、持続可能な財政運営への取り組みに努めました。

平成28年度当初予算案 会計ごとの予算額

会計区分	平成28年度当初予算案	前年度比	増減の理由
一般会計	1,283億1,200万円	3.3%減少	用地取得の完了や基金への積み立てが減少したことなどによる減少(詳しくは下図へ)
用地特別会計(※5)	18億9,900万円	74.3%減少	前年度あった弥生町六丁目用地の一般会計引き取りがなくなったことなどによる大幅な減少
国民健康保険事業特別会計	405億3,700万円	1.0%増加	共同事業拠出金(※6)の増加などを見込んだことによる増加
後期高齢者医療特別会計	65億5,600万円	微増	事務費負担金や葬祭費の増加による300万円の増加
介護保険特別会計	217億1,300万円	1.8%減少	利用者負担割合の制度改正に伴う介護サービス給付費の減少を見込んだための減少
合計	1,990億1,700万円	4.7%減少	

### 予算の特徴

☆予算案の概要は、区HPでご覧になれます。なお、事業については、6ページでも紹介しています

#### ① 未来への扉をひらく取り組みと災害に強く安全なまちづくりを進めます

策定中の基本構想、10か年計画(第3次)の1年目として、区が直面する課題への対応とともに将来像の実現に向けて取り組むため、財源を適切に振り分けました。

また、東日本大震災の教訓を基により安全な中野のまちを実現するとともに、被災地への復興支援を継続し、維持・更新が必要なインフラ資産についても効率的・効果的に整備します。

#### ② 未来を担う子どもを支えるための対応します

子どもは社会の希望であり、未来の力です。次代の社会を担う子どもを安心して産み、育てることができる環境を整備し、子どもが健やかに育つことができる社会の実現のために、さまざまな施策を行います。

#### ③ 持続可能な財政運営に引き続き取り組みます

区政運営のPDCAサイクルの一環として、事業見直しを継続し、業務委託の推進による事務の効率化や徴収体制の強化による財源確保に努めました。

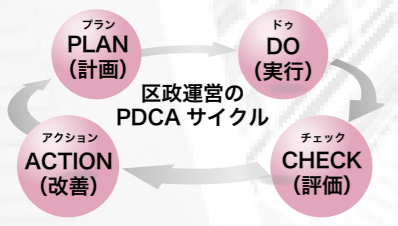
また、財政負担を平準化するため、起債の計画的な活用と基金の適切な活用に努めます。



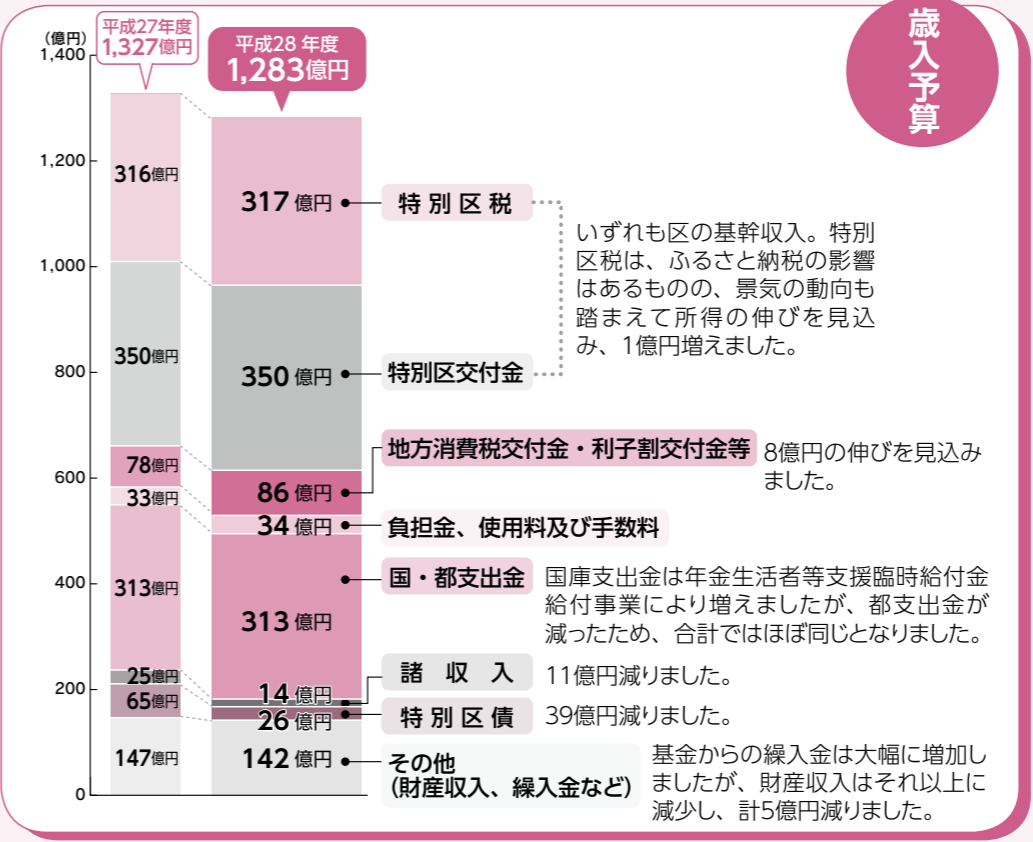
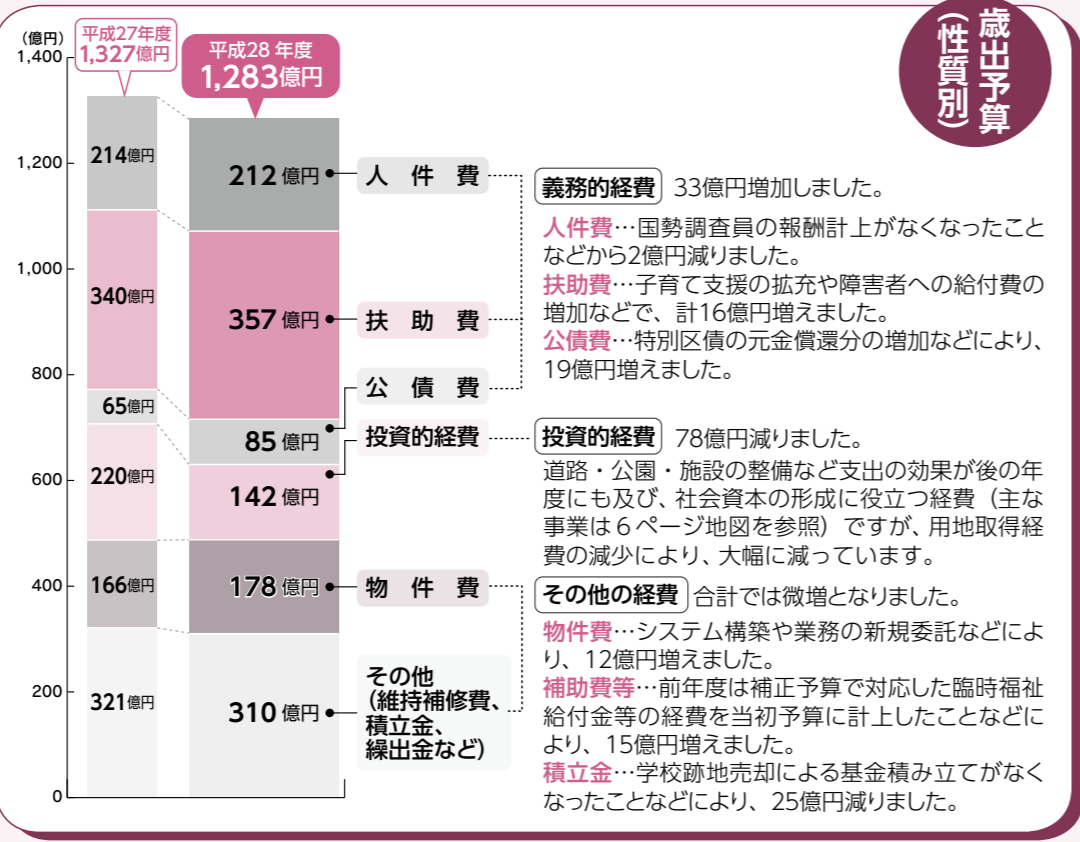
子どもたちが健やかに育つ社会に



中野駅周辺



- #### 用語集
- (※1 一般会計)ごみの収集など生活を支える事業や福祉、教育、まちづくりなど、行政活動に必要な経費を計上した区の根幹となる会計
  - (※2 特別会計)国民健康保険事業などの特定の事業について、その収支を明確にするため、一般会計と切り離し独立して経理を行う会計
  - (※3 基金)区の貯金に当たるもの。急激な税収の落ち込みなどに備えるための財政調整基金や区債の償還に充てる資金を積み立てる減債基金、小・中学校整備のための義務教育施設整備基金、まちづくりに活用するまちづくり基金などがある
  - (※4 起債)区債を発行すること
  - (※5 用地特別会計)公共用地の先行取得に関する経費を取り扱う会計
  - (※6 共同事業拠出金)区市町村が運営している国民健康保険の運営経費が、高額な医療費の集中などで財政不安定とならないように、各区市町村間で財政を調整する仕組み(共同事業)のために支出する経費



☆金額は1億円単位で四捨五入しているため、合計値は一致しない場合があります

一般会計は3.3%減少  
その内訳を歳入・歳出別に見てみると